

# 特集

## 大森山動物園サルたちのひとり言



大森山動物園では現在11種類のサルを飼育していますが、全世界には200種類もの多くのサルが生息し、それらはいくつかのグループに分類されています。ここに登場してもらう5種類はグループの代表的なもの（図1、図2参考）です。今年はサル年です。大森山のサルの代表に自己紹介をしてもらいながら話を聞いてみました。

### 原猿代表 エリマキキツネザル

ぼくはエリマキキツネザルのエリオといいます！  
顔がとんがってキツネみたいだけど、ふるーい原始的なサルという意味で原猿というんだって。仲間が今も住んでるのはアフリカ南部のマダガスカル島だけなんだけど、この島がアフリカから大昔移動して離れたからぼくたち原猿類が生き残ったんだって。



ところで、サル山には今45頭います。一年の中で冬はやっぱり一番つらい季節。吹雪やうんと寒い時には岩陰にかくれて、仲のいい家族が集まり”おしくらまんじゅう”をやって体を温めるんだよ。家族で助けあうのは人も同じかな？

「春よ来い、早く来い」

### 類人猿代表 チンパンジー

ある学者はぼくたちチンパンジーのことを「チンパン人」と表現しているようです。人様が大変近い高い知識をもち高度な社会生活をしているのです。個性も豊かで性格は人様並なんですヨ！それぞれの強い個性の一端をご紹介します。

### 旧世界(アフリカ大陸)ザル代表 アビシニアコロボス

こんにちは、ぼくはニホンザルやマントヒヒなんかと同じ、オナガザル科の仲間です。どうですかこの長いしっぽ立派でしょう！  
ところで、ぼくは「葉食いザル」と言ってふつうのサルと違い、葉っぱを主食としたので、胃袋や腸が大きい体体が大きいんだ。また、好きな葉を食べ歩き高い梢をヒョイヒョイ移動するため、手の親指が退化してしまったんだよ。



### 旧世界ザル日本代表 ニホンザル

オナガザルの仲間なんだけど、しっぽが短いんだ。ちょっと変でしょう。寒いところで生活するため、凍傷になりやすいしっぽをやめたのかも。そして尻だこがあるのも特徴なんだ。

ぼくたちのことを、あるサル学者はスノーモンキー(snow monkey)と言うみたい。世界中で雪の中で生活できるサルは、ヒトとぼくたちだけかも！



図1



図2

